

第11回（2023年度）学校関係者評価委員会報告書

学校法人 立志舎
日本動物専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和4年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 第11回（2023年度）学校関係者評価委員会

<委員>（五十音順）

川口 雅章 氏 一般社団法人全国ペット協会 副会長
北村 啓 氏 株式会社荏谷動物病院グループ 管理部人事労務課長兼総務課課長
近藤 大 氏 株式会社 Dog Nit's 代表取締役
山崎 勇作 氏 立志舎高等学校 事務課長

<事務局>

大槻 実 日本動物専門学校 校長
吉沢 和也 日本動物専門学校 校長代行
早川 慎二 日本動物専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標は、「本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。」とあるが、教育目標については、学則に記載したうえで、設置認可先である東京都に届け出ている。職業実践専門課程認定に伴い、ホームページに基本情報として情報公開している別紙様式4に記載しており、学外にも広く公表している。また、学園の基本目標として、「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。これら、理念・目的・育成人材像は教職員には周知徹底しており、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学は独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入している。この「ゼミ学習」を通して、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業にも就職している。なお、「ゼミ学習」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。</p>

	<p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p> <p>これらは、学則第1条に規定しており、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績を両立することができた。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見と評価があった。</p> <p>(1) スタッフや研修学生に必ず伝えることは、トレーニングの技術や知識があっても、挨拶やコミュニケーション能力がなければ、良いドッグトレーナーにはなれない。貴学の学生は、ゼミ学習を行っているため、ドッグイベントの際にも飼い主様とのコミュニケーションが上手な学生が多かった。</p> <p>(2) ゼミ学習の効果により、他校の学生と比べて、自分の意見を自分の言葉で伝える能力に長けているように思える。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、この学園の基本目標は、以前より繰り返し教職員に伝えており、教務室、事務室、就職相談室などに掲示している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。この運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は運営本部または部次長会議で行っている。理事会、評議員会、校長会、部次長会議、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されているといえる。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職、および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより、「学生から信頼され、支持される学校づくり」が実現している。就職実績は、入学案内書などで情報公開し、オープンキャンパス等で入学希望者に配布している。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p>

	<p>情報システムについては、学務システム（入試システム及び学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。全教職員にパソコンを貸与し、学生に対してはMicrosoft アカウントを付与し、就職情報のオンライン提供、細かな連絡が行える環境を整え、情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 動物病院の採用担当者として人材の確保に苦勞しているが、貴学では横浜動物専門学校を開校予定とのことだが、人材の確保のために採用方法の工夫などあったら教えていただきたい。</p> <p>【回答】特定業務の教務、獣医師、トリマーなどは待遇面での差別化が必要ではないかと検討している。</p> <p>(2) 動物看護師やトリマーなど現場業務では難しいかもしれないが、参考までに弊社では、求人に「一部テレワークも可能」といれたところ応募者が増加した。面接でもテレワークに関する質問が多い。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>教育理念等に沿った、各学科の目的を達成するために、カリキュラムは、学科で目標とする資格の取得および社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。その際、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>本学の学習スタイルは、各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。各コースとも動物に関する知識・技術および社会人として必要なビジネスマナーを体系的に組んでおり、修業年限で、業界が求めるレベルに到達することを可能にしている。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、インターンシップ先や、学内就職セミナー等で得た意見や、年2回開催する教育課程編成委員会での意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行って反映させている。</p> <p>「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、令和4年度から動物看護学科3年制を新設し、愛玩動物看護師養成所として指定認可を受けた。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門科目以外にビジネスマナー、就職ゼミナールなどの科目を設置している。また、新入生就職セミナーや企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、</p>

求められる人物像などの説明を直接学生にいただき、学生の就職先から一定の評価を得ており、毎年求人をしていただき、採用されていることから判断できる。しかしながら、引き続き教育内容や指導方法についての検証は必要であると考え

ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか

1年次には、約1週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携しながら行っている。また、入学時及び年間を通して、定期的に企業と連携した講習会を行っている。

ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。また、学生相談室を設置して学生の声を聞いている。普段から他の教員の授業も教室に入って見学している。また、学生相談室では学生ばかりでなく、保護者からの質問や相談も受け付けている。匿名の電話にも応じ、気兼ねなく質問や相談ができる体制ができている。

ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき、9月と3月の年2回、厳正に行っている。学生には入学式および授業初日にも説明をしている。また、GPA算定をするため、システムを導入している。

チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。

リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

人材育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。また、教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じ自己啓発研修を実施し、教員個々のレベルアップを図っている。さらに、企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問及び意見があった。

(1) ヌ「教員の能力開発のための研修等が行われているか」の評価が3であるが、今後のどのような研修予定があるか。

【回答】職員研修として、グルーミングの研修を月に1回程度、検討している。本学では、全てのコースでグルーミング実習を行っている。トリマーだけでなく、愛玩動物看護師、ドッグトレーナーとしても、学生に対し、爪切りやシャンプーなどのベーシックの部分のレベルの底上げをしていきたいと考えている。

	<p>(2) 他校との差別化に、オペナースというカテゴリーに力を入れるのは良い考えかもしれない。弊社でも外科部門を立ち上げ、オペナースとして1名採用した。今後も増やす予定である。</p> <p>(3) 愛玩動物看護師の国家資格化により、動物看護学科の新設、修業年限を2年制から3年制に変更となっているが、実際にカリキュラムがどのように変わったのでしょうか。</p> <p>【回答】 国家資格のカリキュラムで、臨地実習が増えた。今までの2年制では、就職活動のための実習であったものが、3年制になったため、大小様々な規模や専門診療に特化した動物病院への実習により、看護技術修得、学生の知識・技術の向上が見込まれる。また、本学では、接遇力にも力を入れ、サービス接遇検定を導入し、就職してすぐに活躍できる人材育成を行っている。こうしたことで離職率も下がるはずである。</p> <p>(4) 学生相談室には、どのような相談が多いのか。</p> <p>【回答】 最近では、学生相談室の利用はない。担任に相談したり、担任に相談しにくい場合にも、隣のクラスの担任や、教科担当の先生などに相談している。就職相談室にも年に1件くらいあるが、保護者から就職できるかの心配での相談である。</p> <p>(5) 学生相談室の利用がないのは、教員と学生とのコミュニケーションがしっかりとれている証であると思う。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>例年、新入生就職セミナーをはじめ、進路決定のための就職・公務員ガイダンス、学内就職セミナー、インターンシップを行っている。学内就職セミナー等には多数の企業等に参加していただいている。</p> <p style="text-align: center;">＜就職実績の報告があった。＞</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>コース毎に目標とする資格を明確にし、過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立て、ゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果としてあらわれている。合格者は毎年帝国ホテルで行われる合格祝賀会に招待されることも学生のモチベーションを高めている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。</p> <p style="text-align: center;">＜資格取得実績の報告があった。＞</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>退学者を出さないように常に担任が学生に声をかけるようにし、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録している。学生が学校に来ることが楽しくなるように担任が心がけている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。</p> <p>担任以外にも相談ができるように学生相談室を設置し、匿名で電話相談ができるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し、長期欠席の学生が出ないように努力している。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見と評価があった。</p>

	<p>(1) 相変わらず高い就職率と高い資格の合格率でとても素晴らしい。弊社の人事部に聞くと、貴学の学生は明るく素直でやる気に満ち溢れているとの評価であった。今後も期待している。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>本学では、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施した。</p> <p>さらに、学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これにより、ペットサロン、動物病院、ペットショップ、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。</p> <p>今年度より民間就職支援ポータルサイトを立ち上げ、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、様々な悩みを持っている。それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じており、保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度や延納制度を設けている。これらの制度はすべて、貸与ではなく給付となっている。本学は引き続き、高等教育の修学支援新制度対象校として認定されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を年に1回4月から6月の間に全学生を対象に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>さらに、校舎入り口、教室、廊下、トイレに消毒剤などを設置することで、各種感染症の予防を行っている。インフルエンザが流行する時期は、インフルエンザ等罹患状況報告書により罹患状況を把握し、感染拡大防止のための措置（学級閉鎖など）を行っている。さらに、新型コロナウイルス対策として、登校時に校舎入り口で検温および消毒をして、授業開始前には体調チェックシートによる状況把握、授業終了後には机イス等の消毒をして清掃チェックリストに記入している。また、教室の座席やエレベーターの人数制限等ソーシャルディスタンスを保つようにしている。</p> <p>新型コロナウイルスの罹患状況については、「2022年度・新型コロナ感染関係報告書」に記録することで把握している。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部、ブラスバンド部、バドミントン部、応援団、チアリーダー、ドッグスポーツクラブなどのクラブ活動が存在している。活動回数もコロナ前同様となり、学生主体の活動に、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要である</p>

	<p>ため、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。同窓会の組織化、卒業生へのフォローアップ体制整備を検討する。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者様に送付している。また、必要に応じて保護者様に連絡を取り、面談をしながら学生の指導を行っており、その内容は学務システムに入力し、教員間で共有している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 十分な学生支援ができていると思えるが、「へ. 学生の生活環境への支援は行われているか」に関して、なぜ評価が3なのでしょう。</p> <p>【回答】大学や他校では、自前の学生寮があり、また学生に対しPCの貸与をしている学校もある。そのような学校と比較し評価を3とした。</p> <p>(2) 卒業生のフォローアップは具体的な方法はあるか。</p> <p>【回答】卒業生の就職先を迫るような、システムを構築したいと考えている。それにより、在学生在が職場へOB・OG訪問などできる。</p> <p>(3) 同窓会の組織化はぜひ行ってもらいたい。在学生在は先輩からの話を聞くことができるようになり、先輩は優秀な後輩を採用できるようになるはず。</p> <p>(4) 退学者の多くが精神的な理由であり、専任のカウンセラーの導入は必要だと思う。当校では、毎週実施することで、担任教師の業務負担がかなり軽減されているようだ。ただ、毎回相談にエントリーする生徒もおり、そのような生徒についてはカウンセラー任せにはしないで、担任のフォローも必要になる。</p> <p>※全評価委員より、「へ. 学生の生活環境への支援は行われているか」の評価は4で良いとの評価がなされた。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置し、維持管理については定期的な点検整備を行い、学内に担当者を置き、専門業者に定期的な点検整備を依頼、実施している。しかしながら、教育上支障がないとは言っても、教育上の必要性に十分対応できるようより一層整備していかなくてはならない。</p> <p>ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>海外研修等は中止したが、他のイベントは、ほぼコロナ前の状態に戻っている。学生が希望するインターンシップ先を担当と協力して受け入れ活動を行っている。インターンシップ先でインターンシップ評価票を記入していただき、学生指導に反映している。</p> <p>ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p>

	<p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を行い、自衛消防隊を組織し、防火管理者を置き、消防計画を立てている。しかしながら、大規模災害等いつ何が起こるか分からない状況を考えると、災害時対応マニュアルを更に整備する必要がある、さらに災害時対応のみならず、不審者対応のマニュアル作成なども必要である。</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「ハ. 防災に対する体制は整備されているか」に関しては、学生の他に、モデル犬の飼い主様からお預かりしている犬もたくさんいると思われる。防災マニュアルの見直しをして評価を4にする努力をお願いしたい。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか 入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 少子化時代にあり、募集定員を満たすことが難しくなっているが、両校とも入学定員を満たすことができた。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 本学は法人単位での財務公開体制をとっており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。現状は問題ないと思われるが、社会状況の変化を絶えず見据えながら検討していく必要がある、変更が必要な場合理事会・評議員会の承認を経て学則を変更する。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 社会全体が物価高となっており、弊社のトレーニング等の料金も見直しを考えているが、学納金に関して変更は考えていないのか。 【回答】現状では、変更の予定はない。その代わりに、資格や経歴による特待生制度の見直しを次年度から実施する。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般についてであるが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書</p>

	<p>を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、法令遵守規程を作成し、教職員に徹底している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。また例年、外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度はオンラインで研修を受講した。本学は動物取扱業として東京都に登録しており、動物取扱責任者を選任し必要な知識や技術を習得している。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し、入学時に配布する「専門課程便覧」に公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。教職員には規程の遵守はもとより、インターネット使用時の暗号化なども徹底しており、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準により、点検、評価を行っている。令和4年度分は、令和5年1月31日に実施した。問題点は軽視せず、自己評価において「ほぼ適切」以下の項目についての改善に努めている。</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開しており、学校関係者評価委員会で報告し、評価を頂いている。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) モデル犬にご協力いただいている飼い主様の個人情報も、学生等の個人情報と同様に管理を徹底してもらいたい。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。具体的には学生の校舎外の近隣清掃を開校時から行っており、清掃活動は近隣住民からも好評である。</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>学校が所有する資産を近隣住民に提供することは必要であると考えているが、</p>

	<p>まだまだ課題が残っている。</p> <p>基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学校運営は、近隣の皆さまの理解がとても大事である。今後も地域貢献を重視してもらいたい。</p>
--	---

〔総括的な意見〕

全評価委員より、基準 5 学生支援「へ. 学生の生活環境への支援は行われているか」の評価は 4 で良いとの評価がなされた。

- (1) 新型コロナウイルス感染症も落ち着き、コロナ前に戻るだけでなく、さらに前に進んで行こうとする姿勢が感じられた。今後さまざまなイベントが開催されるので、学生にもいろんな経験をさせてほしい。
- (2) 教職員が学生とのコミュニケーションを密にとり、学修成果をはじめ、学生支援、地域貢献など、コロナ禍の中でも十分な対応ができていると感じた。ここまでするには、教職員の苦勞がうかがえる。教職員の待遇や業務の精査なども大事ではないか。働く人間が健全でないと、良いサービスは提供できない。
- (3) 貴学の卒業生はやはり素晴らしい。弊社では今までのペットショップとは異なる、業務パートナーのパターンが出てきている。ホテルの中や、駅前のショッピングセンターなど、新たな企業との出会いが行われている。学生にも学外のイベントにも参加して、様々な経験をして視野を広げてもらいたい。
- (4) 入学者定員を満たしていることは、学生・保護者から期待されているからである。今後も期待に応えられる学校運営をしてもらいたい。